

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成30年度事業 点検・評価調書

4-IV-7

4-IV-7

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	来訪者と地域住民との交流促進	
	節	IV ホスピタリティの醸成		
	事業(施策)名	7 地域と来訪者の交流促進	事業主体	佐渡市地域振興課
			関連団体	佐渡市世界遺産推進課、佐渡市観光振興課、佐渡観光交流機構、佐渡連合商工会、佐渡を世界遺産にする会
事業実施期間	H28～R4			
事業概要	【事業目的】	○来訪者と地域住民との交流機会を設定し、佐渡ファンの獲得を図る。		
	【事業内容】	○祭り等地域行事に来訪者が気軽に参加できるよう、地域の受入体制を整備する。		
30 事業計画と実績	【30年度計画】	<p>●大学等と連携した地域活性化実証事業 元気で魅力的な地域づくりを推進するため、地域と大学等が連携し、市の施策推進の後押しとなる長期的な活動を実施する場合、島内二次交通費等相当額の負担を応援する仕組みづくりに取り組む。 大学等の外部人材を活用した地域課題の解決や地域活性化につなげる効果的・継続的な仕組みづくりの一環として、地域から外部人材活用のための提案をいただき、重点支援地域を選定し、マッチングを図る。</p> <p>●重点支援地域の数:7地域 本事業により連携する地域の数:15地域以上 参加者数(受入数):100人以上を目標とする。</p>		
	【30年度実績】	<p>●重点支援地域の数:7地域、本事業により連携した地域の数:25地域</p> <p>●参加者数(受入数):201人</p>		
課題・今後の取組	【課題】	■過疎化や少子高齢化により、集落運営や伝統芸能の継承が困難になるなど、人口減少に伴う地域コミュニティの弱体化が進んでいるため、外部人材等を活用した地域課題の解決や地域活性化につなげる効果的・継続的な仕組みについて工夫・検討が必要である。		
	【今後の取組】	■継続的な地域活動を行う学生への負担軽減を図り、長期滞在を促進しながらエリアの特性を活かした地域づくりを推進する。		
事業評価	【事業の達成度】	◇目標に対して3つの指標が計画以上であったことからAとした。		
	【事業実施の効果】	〔(a)・b・c〕		
	【総合評価】	〔(A)・B・C〕		

a:進んでいる。高い。
b:概ね順調。概ね適切。
c:遅れている。低い。

A:計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B:概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C:計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。